

桁下空間 活用を問う



答 にぎわいの創出に努めていく

問 過去に答弁で花水緑の大回廊公園については、令和8年度以降に工事再開との見通しが示されている。町商工会等と連携をし、新たなビジョンを描き、本町の賑わいの創出につながる拠点として整備を進めてほしいがどうか。

都市整備課長 同公園整備事業が再開される際には、町商工会等の関係団体や町民の皆様の見足を踏まえ、本町のにぎわいの創出につながる拠点としての公園づくりに努めていきたい。

問 今後も南風原バイパスや、南部東道路等ができてくる。桁下空間は本町の特色になると思っている。是非、南風原町が世界で一番の桁下空間活用がなされている地域というように評価される取り組みを期待したいが、どのような機能、役割を検討していくのか。

都市整備課長 花水緑の大回廊公園の、未整備区間については、機能や役割についての具体的な計画は今後検討予定である。事業再開時には、町商工会等の意見を確認し、賑わいの創出に努めていきたい。



石垣 大志 議員

スプラッシュパーク整備を

問 本町は沖縄県内で唯一海に面していない町であり、子どもたちが安全に水遊びできる環境が限られている。スプラッシュパーク整備については、沖縄こどもの国や宜野座村の道の駅ぎのさなどの事例があり、いずれも道の駅や動物園等の既存施設の機能強化を図る形で整備をされている。本町においても、既存施設の機能強化、利活用促進として、スプラッシュパークを整備することは、限られた財

源を有効に活用する観点からも、有効な選択肢になり得るのではないかと思うがどうか。



こどもの国スプラッシュパークの様子

都市整備課長 既存の施設を活用し機能を強化することで、限られた財源を助けるような仕組みというのは、有効だと考えている。またスプラッシュパークのような新たな施設の設置は、かなりの費用がかかるので、想定している。

一こんな質問もしました

- 医療的ケア児支援について 問う
- 宮平交差点信号機について